

短期的な測定ニーズにお応えし、各種サンプルに最適な方法で測定

## 誘電率測定サービス

株式会社エーイーティーでは豊富な測定ラインナップと経験に基づいた誘電率測定サービスをご提供します。  
測定サンプルの材料、形状、測定周波数などのご要件に応じて最適な方法を選択し、測定を行います。  
お気軽にお問合わせください。

お問合せ

最適な  
測定手法を  
ご提案

お見積り  
ご提示測定サービス  
実施測定結果  
ご提示

### 主な測定方法

材料	材料形状	周波数	測定手法	特徴
固形	細長い短冊状	1~10GHz	空洞共振器法(TMモード)	マイクロ波領域において高精度に測定可能 (準拠規格: JIS C2565、ASTM D2520、IEC60556)
	薄膜	10~40GHz	空洞共振器法(TEモード)	測定試料を挿入するギャップが固定式で、 挟む方式に比べて測定安定性に優れている (準拠規格: JIS R1641、IPC-TM650 2.5.5.13、 IEC62562)
	厚み0.5mm以上	0.8~18.4GHz	同軸共振器法	マイクロ波領域で非破壊で測定可能 (特許番号: 3691812)
	プレート	10MHz~1GHz	容量法/インピーダンス法	10MHz~1GHzまでの連続した周波数にて測定可能
粉体/液体	必要なサンプル量 1GHz: 10cc 10GHz: 3cc	1~10GHz	空洞共振器法(TMモード)	専用設計の共振器によって高精度な測定を実現 粉体は真密度の情報から充填率を計算し粉体自体の 誘電率を算出
液体など	30cc	200MHz~10GHz	同軸プローブ反射法	広帯域の連続した特性を測定可能
ケーブル	ケーブル	2.45~15GHz	空洞共振器法(TMモード)	発泡PTFE等、低遅延・低損失電線素材を製品形態で 高精度に測定することが可能
低損失な高誘電体	円柱	~20GHz	誘電体共振器法	誘電損失がおおよそ0.001以下の低損失材料の測定 (準拠規格: JIS R1627、IEC 61338-1-3)